

# 令和4年度（令和5年度実施）事務事業評価表

事業整理番号 0801 政09

事務事業名 <b>がん対策基金関連事業</b>	担当組織 <b>池袋保健所</b>	地域保健課
-------------------------	-------------------	-------

事業特性											
事業を構成する予算事業	事業開始年度	30年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画	計画事業No.	3	3	1	3
	単独／補助	区単独事業	運営形態	一部業務委託	関連するSDGsのゴール		3	4	17		
① がん対策基金関連事業経費					②						

政策体系（令和4年度基本計画）			
地域づくりの方向	すべての人が地域で共に生きていけるまち	政策	健康な生活の維持・増進
施策	がん・生活習慣病対策等の推進	政策番号	3-3-1
関連する個別計画	がん対策推進計画	計画策定年度	令和2年
		計画期間	5年間

1. 事業の概要・指標の達成状況									
(1)実施の対象(具体的に記載)	がんに関心がある区民								
(2)事業の目的・期待する効果	がん対策基金を積み立て、がん対策推進の普及啓発事業やがん検診受診率の向上に活用することを目的としている。がんに関する正しい知識や意識を持った区民の数がเพิ่มด้วย、がん検診の受診率が向上し、がんによる死亡を減らすことを狙いとしている。								
(3)事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>がんの正しい知識(予防やがん情報の見方)やがん検診の重要性に関する普及啓発事業の実施</li> <li>普及啓発事業やがん検診受診率の向上に活用することを目的とするがん対策基金の積み立て</li> </ul>								
(4) 目標の達成状況	4年度の取組内容 4年度に実施した具体的な業務内容	がん対策推進特別講演会を一度開催した。がん対策基金積立金、基金利子及び有料広告掲載による収入をがん対策基金に積み立てた。また、基金を取り崩し、がん対策基金関連事業経費に充当した。							
	成果指標 事業目標の達成度	成果指標	目指す方向性	単位	3年度(実績)	4年度(計画)	4年度(実績)	(達成率)	5年度(計画値)
	① がん検診受診率		↗	%	21.8	21.5	21.5	100%	22.5
	② がん対策基金残高		→	千円	6545	6501	6483	99.7%	6441
	③ がん対策推進特別講演会の参加者数		↗	人	89	100	92	92.0%	100
指標の説明	①国の指針である5がん(胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん)の受診率の平均値 ②がん対策基金の基金残高(出納閉鎖期間中の積立・取崩を反映させたもの) ③がん対策推進特別講演会の参加者数								
未達成の状況	一部未達成	未達成または一部未達成の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん対策基金計画の見込みが実績(寄附金及び基金利子)を下回ったため</li> <li>講演会の参加者数が目標値に達しなかったため</li> </ul>						
(5) 取組実績	活動指標 事業の実施状況	活動指標	目指す方向性	単位	3年度(実績)	4年度(計画)	4年度(実績)	(達成率)	5年度(計画値)
	① がん対策推進特別講演会の開催		→	回	1	1	1	100%	1
	② 有料広告掲載		↗	件	1	1	1	100%	1
	③								
	指標の説明	①がん対策推進特別講演会の開催回数 ②豊島区がん対策推進有料広告の掲載件数							
未達成の状況	達成	未達成または一部未達成の理由							

2. 事業費の推移								
単位 (金額の項目:千円 人数の項目:人)	3年度		4年度			5年度		
	予算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減(R4決算比)	
事業費	A	186	186	186	186	100.0%	186	0
人件費	【正規(人数)】	—	(0.30)	—	(0.20)		(0.20)	—
	【会計年度任用職員等(人数)】	—	(0.00)	—	(0.00)			—
	人件費 B	B	—	2,550	—	1,700		1,700
事業費(人件費含む)	C=A+B	—	2,736	—	1,886		1,886	0
財源内訳	国、都支出金							0
	使用料・手数料	D						0
	地方債・その他		186		186		186	0
一般財源	E=C-D	—	2,550	—	1,700		1,700	0

### 3. 総合評価及びR5年度以降に向けての対応・改善策

**【指標の達成状況(a)】**  
→S、A、B、C、Dの5段階で評価 **B** 根拠 基金残高、講演会参加者数が目標値を下回ったため

※上記の達成状況を踏まえ、評価及びその根拠を記載してください。  
※以下の欄には、①目標に対する成果結果の課題、②指標以外の数値では測れない効果について記載してください。

(1)令和4年度成果と課題

①目標に対する成果状況を踏まえた課題  
がん検診受診率は目標に達したが、がん対策基金残高は減少傾向にあるため財源の確保が課題である。

②指標に表れない事業の成果(指標以外の成果)  
事業実施の結果、数値で測れない成果があれば記載。

**【業務(事務)改善に向けての取組み(b)】**  
S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒ **B** 根拠 委託により適正な価格で実施しているため

※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。  
※昨年度に何らかの対応、改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。

(2)業務(事務)改善にむけての取組み

①目標に対する成果状況を踏まえた課題(再掲)  
がん検診受診率は目標に達したが、がん対策基金残高は減少傾向にあるため財源の確保が課題である。

②現状の実施状況における所管課の認識

事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。	無	選択の理由	常にかんに関する最新で正確な情報の普及啓発を行っているため。
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	無	選択の理由	啓発事業は委託により実施している
サービスに係るコストは適正か	適正	選択の理由	最低限必要な経費でがんに関する普及啓発を実施できている。
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	有	(有の場合)事業名	がん対策推進事業

③上記①、②を踏まえた所管課の対応実施状況

対応、改善を既に行った	はい	はい	取組内容及び効果	がん患者を支援するNPO団体に委託し、専門性やネットワークを活かした講演会を実施している。	予算措置	無
対応・改善予定(上記ではいの場合には更なる)	無	無	対応、改善の予定がない理由	委託により適正な範囲で実施している。		

選択肢に関わらず

対応、改善の内容	有	有	予算措置を伴わない実施との比較検討	予算措置を伴う理由	予定時期
----------	---	---	-------------------	-----------	------

**【区が実施する必要性(c)】**  
S、A、B、Cの4段階で評価 ⇒ **A** 根拠 がんに関する正しい情報提供のため必要である

※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。  
※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。

(3)必要性/優先度

①区が実施する理由(複数選択可)

区他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	<input type="checkbox"/>	法律の要請を受けて行う事業である。
民間事業者等に同様のサービスがない。	<input type="checkbox"/>	○ その他 (理由) 区はがん対策の情報提供をするよう努めることとされ、その費用に充てるために豊島区がん対策基金を設置している。(豊島区がん対策推進条例第6条、豊島区がん対策基金条例第1条)

②区民ニーズ

区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(活動)	指標番号(成果)	③	サービス利用者数	50名以上
「有」「無」ともに記入			推移	推移	↗		

区民ニーズに対する認識  
生涯のうち約2人に1人はがんに罹患し、3人に1人はがんが原因で亡くなると言われている。昭和52年(1977年)以降、区民の死亡原因の第一位である。

総合評価(d=a+b+c) **ランク3**

#### 4. R5年6月末時点の状況

①令和5年度当初の課題・ニーズ	基金残高は6,483千円と十分にあるが、継続して広告収入と寄附金の募集により財源を確保していくこと。最新のがん情報と区民ニーズを踏まえて講演会のテーマを設定すること。
②国・都の動き(関係法令の改正・補助金の創設・方針の変更など)	国の「がん対策推進基本計画(第4期)」(令和5年～令和10年)が開始された。がん患者における社会的な問題への取り組むべき施策として、「地方公共団体は、がんに対する「偏見」の払拭や正しい理解につながるよう、民間団体や患者団体等と連携し、普及啓発に努める。」とされている。
③令和5年度の方向性・取組方針(事業展開)	がん支援団体のNPOとがんイベントを共同開催し、がん対策推進特別講演会を実施する。
④令和5年度の事業進捗状況(6月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広告掲載による収入1件(100千円)</li> <li>・がん対策基金の募集を区ホームページに掲載している。</li> </ul>
⑤区民等からの事業に対する意見・要望	特になし
⑥上記⑤に対する対応	特になし

今後の事業費予算要望(e)	現状維持	根拠	がん対策基金を活用して適正経費で実施できている
---------------	------	----	-------------------------

今後の事業の方向性(d+e) (現状の評価および施策評価を踏まえた評価)	A:現状維持
---	--------

#### 《上記判断を踏まえた所管課の認識・R5年度以降に向けての対応》

がんに関する普及啓発は、豊島区がん対策推進条例で区の責務と規定されている。がん対策基金を活用してがんに関する講演会を、がんの専門団体に委託して実施していく。がん検診の受診率向上に寄与するテーマ設定だけではなく、がんに対する正しい理解を促進させる講演会を実施する。また、講演会の他にも、各種イベントでがんやがん検診の受診を啓発していく。